



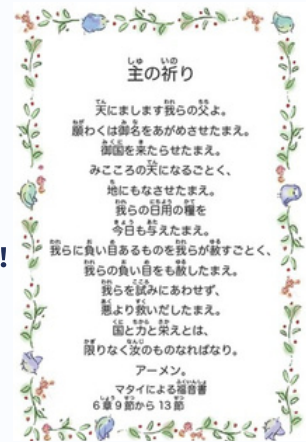
NEWSLETTER

JUNE 2026 婦人より～



今月のニュースレターでは、教会イベントを通しての感想をシェアします！

礼拝後の教会の父の日ランチでは、バーバキューランチ作りのお手伝いに参加させていただきました。普段、家ではBBQをする機会がないので、バーバキューをよく知っているTさんが炭の状態や肉や野菜の焼き加減を見て、それぞれ肉や野菜を焼いたり、配膳係りなど分担を楽しく行うことができ、美味しいバーバキューランチをいただきました。ハレルヤ！毎日の生活があたりまえではなく、父なる神様が、イエス様、教会を通して与えてくださっている恵みに感謝します。(H.S)



父の日が来るたびに、私の心にはどこか寂しさがありました。お父さんをお祝いしたい、一緒に過ごしたい、そんな気持ちはあるのに、父はいつも仕事で忙しく、なかなか心が通じ合えない。学校の父の日参観日も、いつも父が来ることはありませんでした。こどもながらに、「大切にされていないのかな」と感じながら、そんな思いを抱えたまま子供時代を過ごしていました。それが変わったのは、教会で父なる神様のことを知り始めた時でした。天地宇宙を創られた、全能の神様が、私のお父さんである—その真実が心に入ってきた瞬間、これまでずっと胸の奥にあった寂しさが、まるで霧が晴れるように、過去のものになっていきました。「ああ、私にはこんなに素晴らしいお父さんがいてくださったんだ」と。そして今、私には3人の父がいます。一人目は、天地宇宙を創られた父なる神様。二人目は、教会で牧師先生—聖書のことを真実を分かり易いことばに噛み砕いて、私たちを霊の子として育ててくださる、霊の父。そして、3人目は実の父です。

イエスさまを信じてから、過去の日々を振り返ると、大切なことに気づかされました。まだ信じる前の日々にも、神様はすでに私のそばにおられたということです。人生の道を踏み外しそうになるとき、危険な場面に差し掛かる時、神さまはさりげなく手を添えて、私の心に思いを置いてくださっていました。自分では気づかないうちに、歩む道を整えられ、守られていたのです。あの頃の出来事が、今は全く違って見えます。偶然だと思っていたこと、なんとなくそうしようと思ったこと—それら一つひとつに、父なる神さまの手がありました。神さまは、私がまだ神さまを知らない時から、ずっと私の歩みを見守り、導いてくださっていたのです。そして実の父のことも、今は違う目で見ることができます。忙しくて心がすれ違っていたあの頃も、父は父なりに、精一杯私たちのために働いてくれていたのだと、今は感謝の気持ちで振り返ることができます。父なる神さま、霊の父である牧師先生、そして実の父—この3人の父に囲まれていることを、今日この父の日に、心から感謝しています。(J.K)



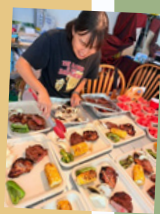
神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。(ヨハネ3:16)

今年の父の日は教会で牧師夫人が提案し教会の兄弟姉妹でランチを作りお祝いしました。教会にきて父なる神様の愛を知りました。一人子をお与えになるほどの愛、それほどまでの愛を与えてくださりまた愛には犠牲が伴うことも知り感謝がつきません。また毎週、聖書の御言葉を深く自分に適用できるように教えてくださっている教会のバスター(霊の父親)に感謝します。何時間も時間をかけて御言葉を解き明かし深く真理を教えてくださっている忍耐も感謝します。メッセージをとおして神様のこと自分自身のことを知り生き方やその時々に必要な言葉を与えてくださり御言葉によってきよめられ成長できていることを心から感謝します。(K.I)

Memorial Day

5月の終わりにメモリアルデーの祝日がありました。今回は日本からの留学生も一緒にDAVARのメンバーとゴーカートやハイキングのアクティビティ、またTさんの自宅をお借りしてBBQをしました。教会のアクティビティはどれも年齢や性別を超えて家族のような交わりの時で、それぞれが提供できるものを協力し合って行います。その中に神様の愛が流れて、最後にはまたやりたいね、と笑顔の解散になります。神様の家族と過ごす、温かい交わりの時となりました。ハレルヤ🙌(H.N)

見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんといいしあわせ、なんといい楽しさであろう。(詩篇133:1)



INSPIRE

David Movie

ダビデと他の人の違いが、ダビデは神様がいつも自分と共にいる事を知っていた。信じるというより、良く知っていた。神様が1人1人、違う、召し、目的で作られた。自分のままで居る事が一番素晴らしい。そのままがいい。神様の引く道が、各自違うし、それがすぐに見えない。でも最後まで信頼する時、神様がその人を通して神の栄光を現される。その道は大きい器程、栄光を大きく現す器程、孤独と試練、苦しみ、他人には理解されない道を神様が通らせる。

ダビデの勇気、羊飼いの品性、羊から人間へ変わっていく過程が良く現れていて、アニメーションだがダビデの目が綺麗だった。やはり神様への愛がすべての原動、勇気、愛、真実になる。ダビデの様に、残りの人生を生きたいです。(R.L)